

しづはた購買店だより

静岡市葵区下 1459-1 ☎294-9330 FAX294-1635

令和8年 8月 発行

購買：山下・谷米・竹澤	配送：白鳥		
購買・地区担当	昭府地区担当：海野	大河内地区担当：川嶋	梅ヶ島地区担当：望月 達
北部営農センター（しづはた担当）	茶：折山	蔬菜・苺・水稻：石井	果樹：伊藤 女性部：大越

《お知らせ》

購買店 営業時間の変更について

R8 10/1 からアグリセンター2 拠点化のスタートに伴い、購買店の決算棚卸や、いままでの事務所から新事務所への移転準備等の関係で、営業開始が下の通り変更となります。

◆決算棚卸のため

9月29日（火）は 8時30分～12時00分まで

（しづはた購買店営業最終日）

◆購買店の移転準備などのため

9月30日（水）は 1日 休業となります。

大変ご迷惑おかけしますが、ご理解 ご協力よろしくお願い致します。

非常に暑い日々が続きます。熱中症予防に水分補給を！

9月末までの特別価格

スパークリングみかん 本物果汁入り



（280ml×24本）

3,100円⇒2,430円（税込）

静岡県産 温州みかんの果汁を10%
使用し、フレッシュ感の高い柑橘系の
炭酸飲料。

ぎゅっと みかん 濃縮還元果汁 100%



（190g×30本入り）

5,300円⇒4,450円（税込）

1缶に静岡県産温州みかん約5個分の
果汁を使用。無加糖でみかん本来の甘さ
と酸味が際立つ贅沢で濃厚な味わい。

耕作面積調査書にご協力ください。

7月の訪問日で、農協が実施している耕作面積調査書を対象の方にお配りしました。

農地面積の調査となります。農業振興計画を立てる際などの指標となる為、ご提出にご協力
よろしくお願いします。

※ 変更がない場合でもご提出をお願いします。

提出締切りを過ぎても回収受付しますので、最寄りの購買店（支店）へご提出をお願いします。

《茶》 いかに、健全な3番茶（母枝）を作るかが重要

本年も非常に暑い日々が続いています。乾燥が続き、ダニ等が発生しやすくなるので注意です。
今後、降雨等気象の変化は病害虫の発生に影響しますので、注視し管理作業を行って下さい。

【防除】

ハマキムシは3茶芽や下葉に潜んでいます。茶園に蛾が飛んでおり卵も確認できましたので、8月中
にハマキムシ類に対する防除を徹底して下さい。

また、ダニ類・クワシロカイガラムシの発生する時期ですのでご注意ください。

注意する茶園 … 毎年発生する茶園・干ばつに合っている茶園

● 8月中下旬

ハマキムシ類（シャクトリムシ） アファーム乳剤 2,000倍（7日）又はディアナSC 5,000倍（前日）

※ アファーム乳剤、ディアナSCは、葉が閉じていても効果があります。

※ 炭そ病・もち病が発生している場合は、スコア顆粒水和剤 2,000倍 7日 混用。

病気が発生しやすい茶園では、治療殺菌剤を散布するよう注意して下さい。

注意する茶園 … 梅雨時期にハサミを入れた茶園・山間地の日照量が少なく湿気がある茶園

● 秋芽1～2葉期（9月上中旬～）

炭そ病・もち病	クミガードSC	500倍	} 混用 7日
ウンカ・スリップス・サンカクハマキ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	

※ チャトゲコナジラミ又はサビダニ・ホコリダニの発生が懸念される園には、スタークルに替えて
劇ハチハチ乳剤（1,000倍 14日）を散布。

クワシロカイガラムシ 3回目はダラダラ長く発生します。

9月上中旬 アブロードエースフロアブル 1,000倍 14日 単用

※ 近年、温暖化により発生が非常に早い傾向なので、防除時期にご注意下さい。

※ アピオンE（展着剤）を混用することで、耐雨性が向上します。

【施肥】 ☆ 近年は、pH3台の茶園が目立ちます。しっかり土改材で改善しましょう。
☆ 秋肥は来年の1茶の生育や収量、品質に大きく影響します。

土壌改良材 …… 秋肥を施肥する前に土壌改良材を投入する事で酸性土壌を矯正することで、
秋肥の効き目が良くなります。土改材で肥料の吸収効率を高めましょう。

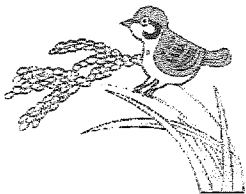
苦土石灰（粒）・苦土セルカ2号（粒）など 4～5袋/10a（pH目標：4）

配合 肥料 …… 夏場の干ばつ期に施肥をしても効果は低いので、土壌に水分がある頃に施肥を
しましょう。降雨が予測される前の施用がポイントです。

1回目 8月下旬～9月上旬 配合 5袋/10a

2回目 9月中旬～9月下旬 配合 5袋/10a

※ 1回の施肥の場合は、9月上中旬（遅場所は9月上旬ころ）



《水稻》

- 1、 水管理
- ・ 出穂後は数日おきに間断かん水とし、落水は出穂後 30 日頃とする。
 - ・ 8月に入り高温が続いているため高温障害に注意してください。

2、 病害虫防除 出穂直後 8 月下旬～ (中生・晩生)

穂もち・穂枯れ	ブラシン(フ)	1,000 倍	収穫 7 日前	2 回
ウンカ・カメムシ類	エクシード (フ)	2,000 倍	収穫 7 日前	3 回

- 3、 収穫時期
- ・ 1 穂中の 90%の籾が黄金色になった頃 刈り遅れに注意してください。

ウンカ・カメムシに注意！

秋ウンカ（トビイロウンカ）は株元付近で吸汁し坪枯れを引き起こします。
カメムシは口針を作物に刺して吸汁するので「しいな粒」や「斑点米」被害が発生します。

防除のポイント

- ① ウンカ類は株元に寄生することが多いため、株元まで薬剤がかかるようにする。
- ② カメムシは日中あまり活動しないため防除は早朝か夕方に行なう。
- ③ 発生が多い場合は薬剤防除を実施する。

ウンカ類	エミリア (フ)	1,000 倍	収穫 7 日前	2 回
カメムシ類	スタークル (顆水)	2,000 倍	収穫 7 日前	3 回



令和 8 年度 水稻農作業標準料金表 (税込)

JA 静岡市耕種委員会

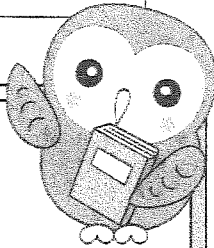
作業名	単位	料金	備考
刈取	コンバイン	59,950 円	刈取・乾燥・籾摺 (玄米運搬は含まない)
	バインダー	18,150 円	
脱穀	10a	16,060 円	結束ひも代含む
乾燥	コンバイン	29,920 円	コンバインによる刈取籾
	仕上げ乾燥	6,050 円	
籾摺	60kg	1,430 円	乾燥良く収穫した籾
玄米運搬	10a	2,420 円	

《わさび》

わさび農薬安全使用講習会 開催

- ・ 日 時 令和 8 年 9 月 1 日 (火) 18 時～
- ・ 会 場 大河内生涯学習交流館 (葵区平野 1097-38)
- ・ 内 容 ①わさび農薬安全使用について (講師：中部農林事務所 久松 奨 氏)
- ②農薬散布計画及び実績報告票について

※わさびを栽培されている方は、出席をお願いします。
※都合のつかない場合もなるべくご家族など代理出席をお願いします。
※ご不明な点等ございましたら、しづはた購買店 (294-9330) 石井までお問い合わせください。



《いちご》

《育苗》 育苗期間も残りわずか、病害虫の防除と花芽促進に向けた管理を。

- 1、 切り離しからの管理
- ①育苗中の肥切れは芯止まりにつながります。メルク試験紙を用いて、確認しましょう。
→できるだけ地温を下げ、肥料の効きを良くしましょう。(遮光資材推奨)
 - ②8 月 30 日以降の 1 B 化成の施用は控えて下さい。
→9 月中旬からは低めの管理を心掛けましょう。(硝酸イオン濃度 50ppm～100ppm)
→葉面散布の場合は 3 日～5 間隔で散布。(EC0.5 程度)
 - ③頭上灌水の方は 6 時頃と 15 時頃を目安にたっぷりと灌水を行い、培地の温度を下げる。
 - ④紙ポットをご利用の方はポットの表面が濡れるように灌水を行い、気化熱を最大限利用する。
 - ⑤2～2.5 枚になる様に適宜葉かきを実施。ポットから抜き根が傷んでいないか確認する。
 - ⑥最終の葉かきは定植の 10 日前を目安に行い、定植時は 4～5 枚となるようにする。

2、 炭そ病防除ローテーション (先月号の続き)

「本圃への病害虫の持ち込みがないように定植前はとくに入念な防除を行いましょう。」

時 期		薬 剤	RAC	倍率	主な対象病害虫
9 月	第 1 週 (30 日～5 日)	ベルコート（水）	M7	1,000	炭疽、うどんこ
		コロマイト（水）	6	2,000	ハダニ
	第 2 週 (6 日～12 日)	オーソサイド（水）	M4	800	炭疽
		エコピタ（液）	未	100	うどんこ、ハダニ、アブラムシ
	第 3 週 (13 日～19 日)	アントラコール（顆水）	M3	500	炭疽
		ブレオ（フ）	UN	1,000	ヨトウ
	第 4 週 (20 日～26 日)	キノンドー（フ）	M1	500～800	炭疽
マイトコーネ（フ）		20D	1,000	ハダニ	
	定植直前 コガネムシ防除	ベリマークSC	28	1,000 倍 ※灌注 25～50ml / 株	ヨトウ、アブラムシ、 アザミウマ、コガネムシ
10 月	第 1 週 (27 日～3 日)	オーソサイド（水）	M4	800	炭疽
		マッチ（乳）	15	1,000～2,000	ヨトウ、アザミウマ

《本圃》 定植に向けて準備を始めて下さい

定植時の確認事項

- ① 必ず花芽分化を確認してから定植してください。
- ② 定植後 2 週間は葉かきしないこと (病害虫の発生が酷い場合は適宜除去)
- ③ 土耕の場合、元肥は定植 20 日前までに施用しておく。
- ④ 高設の場合、定植 1 週間前から EC0.4 程度で給液を開始する。
- ⑤ 定植時の地温はなるべく下げ、根の活着を促しましょう。(適温は 18～23℃)
- ⑥ 定植後最低でも 10 日間は株元に手灌水を行い、新しい根を出させる。

☆全体検鏡のお知らせ☆

第一回 9/16 (水) サンプルング → 9/17 (木) 検鏡

第二回 9/24 (木) サンプルング → 9/25 (金) 検鏡

- ・ 精度を高める為、検体は種類ごとに 3 株以上ご用意頂くことをお勧めします。
- ・ 検鏡希望者は上記サンプルング日に検体を各購買店へご持参ください。
→氏名、連絡先、品種、作型 (平地・高冷地)、育苗資材 (小型ポットやポリポット他) を記載
- ・ 検鏡は随時実施しております、希望者は営農指導員へご相談下さい。

《柑 橘》

◎摘果作業

中 晩 柑：仕上げ摘果が終了していない園は、早急に行い果実肥大向上に努めてください。
 早生温州：9月上旬までに仕上げ摘果を実施して下さい。裾成り・内成り果・病害虫被害果を中心に摘果して下さい。
 青島温州：9月中旬に仕上げ摘果を実施して下さい。糖上昇と減酸との境目となる時期です。この時期の摘果により、糖の上昇が見込まれます。

◎防除管理

防除の適期防除に努めて下さい。また、極早生の収穫が早いものは9月下旬となりますので、8月中旬以降のペンコゼブ・ジマンダイセン・Mダイファアの散布はしないで下さい。着色期のハダニの発生は、果実への影響が出るので9月末までにハダニの撲滅を図りましょう。
 ・カイガラムシ類の発生園では、アブロードフロアブル 1,000 倍を8月下旬～9月上旬に散布する。
 ・台風等の影響により褐色腐敗病の発生が懸念される場合は、ランマンフロアブル 2,000 倍（前日—3 回）を樹の下半分へ散布する。

☆温州ミカン

防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	防 除 基 準
9 月 中 下 旬	チャノキイロアザミウマ	ロ デ ィ ー 乳 剤	2,000 倍	7日—4回
	ミ カ ン ハ ダ ニ	ダニゲッターフロアブル	2,000 倍	前日—1回
	黒 点 病	ペンコゼブ水和剤	600 倍	30日—4回

※浮皮軽減・日焼け防止対策として、バイカルティ 1,000 倍を加用散布すると効果的。

☆中晩柑類

防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	防 除 基 準
9月中旬	チャノキイロアザミウマ	ロ デ ィ ー 乳 剤	2,000 倍	7日—4回
	ミ カ ン ハ ダ ニ	ダニゲッターフロアブル	2,000 倍	前日—1回
	黒 点 病	ペンコゼブ水和剤	600 倍	90日—4回

※ 年内出荷予定のポンカンへの防除は、ペンコゼブ水和剤のかわりにオキシンドー水和剤 80 1,000 倍（30日—3回）を使用して下さい。

《落葉果樹》

◎防除管理

対象作物 防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	防 除 基 準
いちじく 9 月	さ び 病 疫 病	アミスター10フロアブル	1,000 倍	前日—3回
柿 9月上旬	カ メ ム シ 類 うどんこ病・炭疽病	スタークル顆粒水溶剤 ストロビードライフロアブル	2,000 倍 3,000 倍	前日—3回 14日—3回
ぶどう 9月中旬 (収穫後)	カ イ ガ ラ ム シ 類 ベ と 病	トランスフォームフロアブル I C ボ ル ド ー 6 6 D	2,000 倍 50 倍	3日—3回 — — —

梨 9月中旬	黒 星 病	キノンドーフロアブル	1,000 倍	3日－9回
梅 9月中旬	ウメシロカイガラムシ	アプロードフロアブル	1,000 倍	7日－2回
桃 9月中旬	せ ん 孔 細 菌 病	I C ボ ル ド ー 4 1 2	30 倍	－ － －

柑橘・果樹類カメムシ類の発生が予想されています。

カメムシは、仲間を寄せ付けるフェロモンを出しますので、あっという間に園全体にカメムシが集まりますので、園内に1匹でも見受けられたら、防除して下さい。

防除農薬は、成分が同じような剤を連続して散布しないようにして下さい。防除する場合は、カメムシが飛立たない早朝に行いましょう！詳しくは、購買店にお問合せ下さい。

系 統 （ 成 分 ）	農 薬 名	希 釈 倍 率	使 用 基 準
ネオニコチノイド	ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤	2, 000倍	前日－3回
	ア ク ア タ ラ 顆 粒 水 溶 剤	2, 000倍	14日－3回
	ダ ン ト ツ 水 溶 剤	2, 000倍	前日－3回
合成ピレスロイド	テ ル ス タ ー 水 和 剤	2, 000倍	前日－3回
	劇口 デ ィ ー 乳 剤	2, 000倍	7日－4回

マダニに咬まれないように注意！

マダニ媒介感染症SFTSの患者が発生し亡くなられています。また、日本紅斑熱の感染者も発生しています。いずれもマダニに咬まれたことで感染したとみられています。全てのマダニが病原体をもっているわけではないですが、病原体を保有しているマダニに咬まれると感染症を引き起こすことがあります。

〈予防策〉春～秋にかけマダニの活動が活発になっています

1. 農作業時、屋外活動、レジャーなど草むらなどにいるマダニに咬まれないようにしましょう

①野外では肌の露出を減らすこと

・帽子・長袖・長ズボンの着用。（首にはタオルを巻く、袖口は手袋の中、服の裾はズボンの中、ズボンの裾は靴下で被う）

②市販のマダニ忌避剤も併用。完全ではありませんが、付着数は減少します。

2. 屋外活動後の体調確認

①上着や作業着は、家の外で脱ぐなどしてマダニを家の中に持ち込まない。

②屋外活動後はマダニに咬まれていないか全身を確認する。

③ダニの多くは、長時間吸血します。咬まれた場合は皮膚科等の医療機関でマダニの除去。

3. 野生生物やペットとの接触にも注意